



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
担当者の所属・氏名
臨床研修部 紙谷咲良

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 紙谷咲良

【指導医】

聖路加国際病院 女性総合診療部 小野健太郎

当院で分娩誘発をされた方を対象とした

緊急帝王切開率に関する研究

1.研究の対象

2020年10月1日～2024年5月31日までの間に当院で分娩誘発を行われた方

2.研究の目的・方法

分娩誘発とは、まだ陣痛が来ていない妊婦さんを早くお産へ導くことで、日本では全分娩のおよそ3割が分娩誘発されていると言われています。施設によって分娩誘発の方法、使用する機械、薬剤は異なりますが、必ずしも分娩誘発が全例成功するわけではなく、約25.1%の赤ちゃんは分娩誘発後帝王切開で生まれてきます。この確率は母体の年齢、分娩歴、児の体重、分娩誘発の方法などの様々な要因によって影響を受けており、海外では分娩誘発後の緊急帝王切開の可能性を予測するモデルがいくつか開発されていますが、母体背景が違うためそのまま日本人の妊婦さんに適応することはできません。今回分娩誘発後の緊急帝王切開の可能性を予測するために、分娩前および分娩中の要因を組み込んだ予測モデルを開発することを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年7月8日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 身長、体重、分娩歴、妊娠合併症の有無、妊娠方法、カルテ番号等